

思い出の座間

戦後編

座間で写真が一般的になったのは戦後に入ってからです。それ以前は写真に接する機会はごく一部の人に限られており、何かの記念に厚木や横浜などの写真屋へ出かけたり、出張して来てもらって撮影するのが一般的でした。従って人物写真が多く、風景や出来事を撮ったものはごく少ないのですが、可能な限りアルバムの中からひろい出して編集したのが昭和**61年(1986)** 3月に発行された「目で見える座間」です。

この「思い出の座間」は、書籍の「目で見える座間」をホームページに忠実に反映することを基本にしております。

今回は、前回の「軍事施設」に続き、「戦後」にまつわるコンテンツを紹介させていただきます。

内容は、街角、**20年代**、**30年代**、開発直前の風景、開発の波・工場進出、歴代の村町市長に関する写真とコメントになります。

戦後 20～30年代



戦後の座間は、アメリカ軍の進駐と農地改革で始まる。しかし、何と言っても農村という住民の生活基盤を根底から崩したのは、高度経済成長の波であり、この座間に人口の急増を伴う土地開発をもたらした。ここでは、終戦から開発の始まる30年代までの懐かしいアルバムを紹介する。

写真は、相武台前駅売店でのアメリカ兵(昭和30年ごろ)



八百屋の店先で(昭和30年ごろ)



行水 (昭和30年ごろ)



新星楽団 (昭和25年ごろ)



国民服姿の少年(昭和21年)

街角



手押ポンプ(昭和30年ごろ)



紙芝居(昭和30年5月)



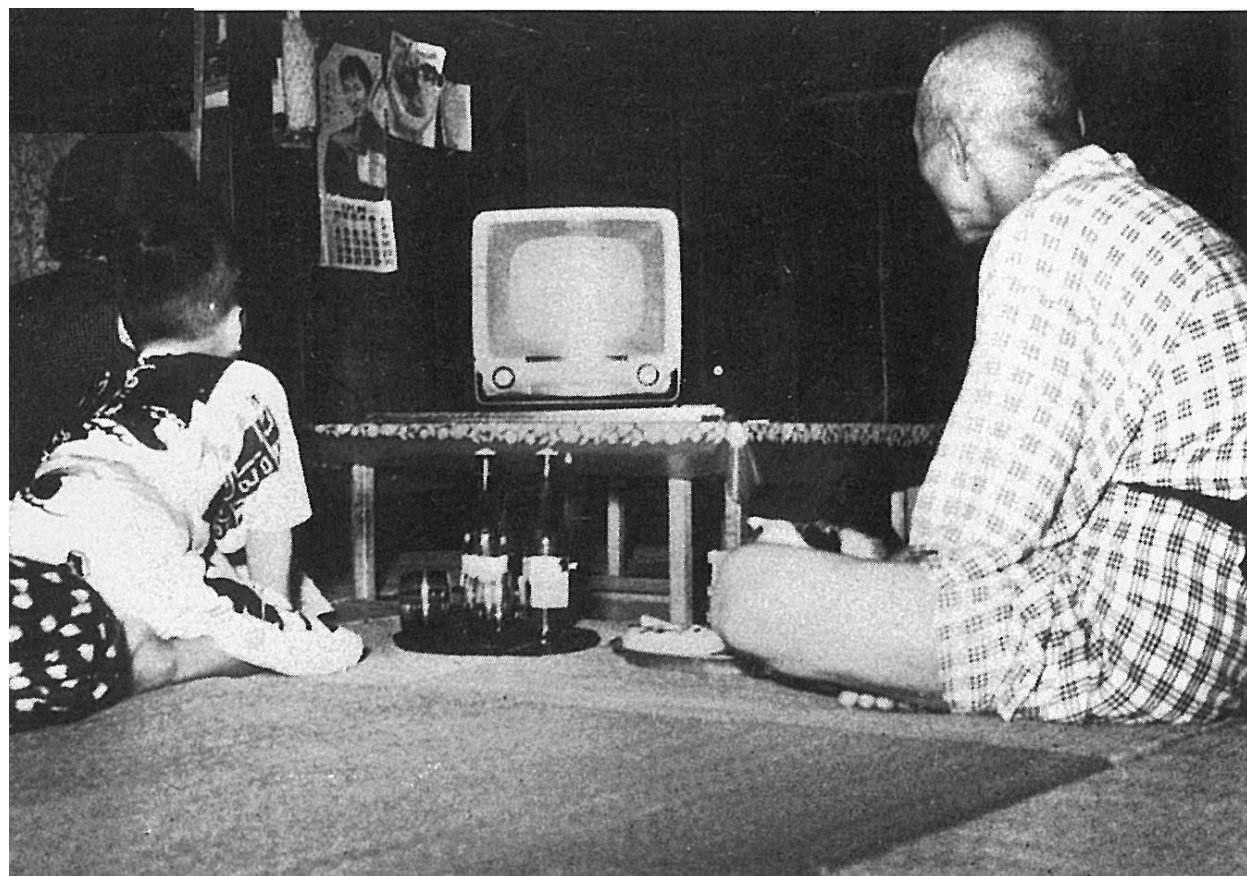
リンゴ売り（昭和30年ごろ）



ミスユニバース 準神奈川代表
(昭和30年ごろ)



ラジオ体操(昭和35年ごろ)



テレビの出現(昭和33年ごろ)

20年代



分町

昭和23年9月1日、座間は相模原町から分離・独立する。翌月1日の選挙では稲垣俊夫氏が町長に当選する。

写真は昭和27年、三役及び議員の任期満了の記念。



役場庁舎

戦後、座間を含め周辺の多くは旧軍施設が米軍の基地となった。そのため、公共機関などには横文字が目についた。

写真のトラックのZPOは座間町役場の略。昭和25年ごろ。



分町一周年記念駅伝大会優勝記念

下栗原とチーム名はある。場所は専福寺境内にあった分校。



相武台前派出所完成記念

基地に近いところから、戦後まっさきにつくられた。昭和21年。



火ノ見櫓の完成(昭和25年)



ポンプ車購入記念

入谷の皆原地区の消防団。昭和26年。
まだ、ポンプ車は珍しかった。



鮎之道竣工式

鮎之道は座間下宿から中河原地区へと通じる古い道路で、カーブが多いのでまっすぐに付け替えられた。昭和27年。

公民館活動



公民館の棟上式(昭和28年)



公民館の完成

当時、周囲はまだ田んぼで、道路も未舗装であった。昭和29年。

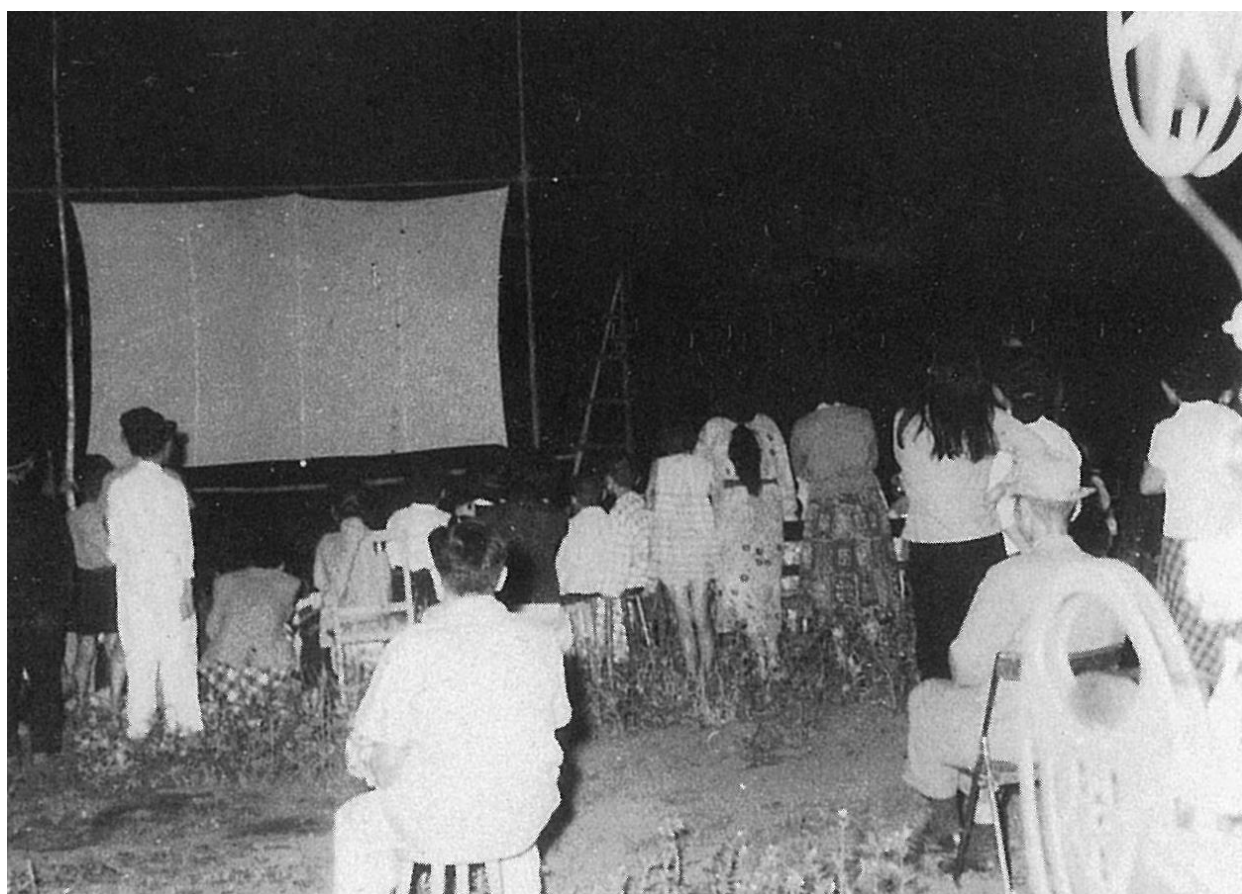


文化展

第1回は昭和30年に行われた。
写真は第2回目の文化展の様子。

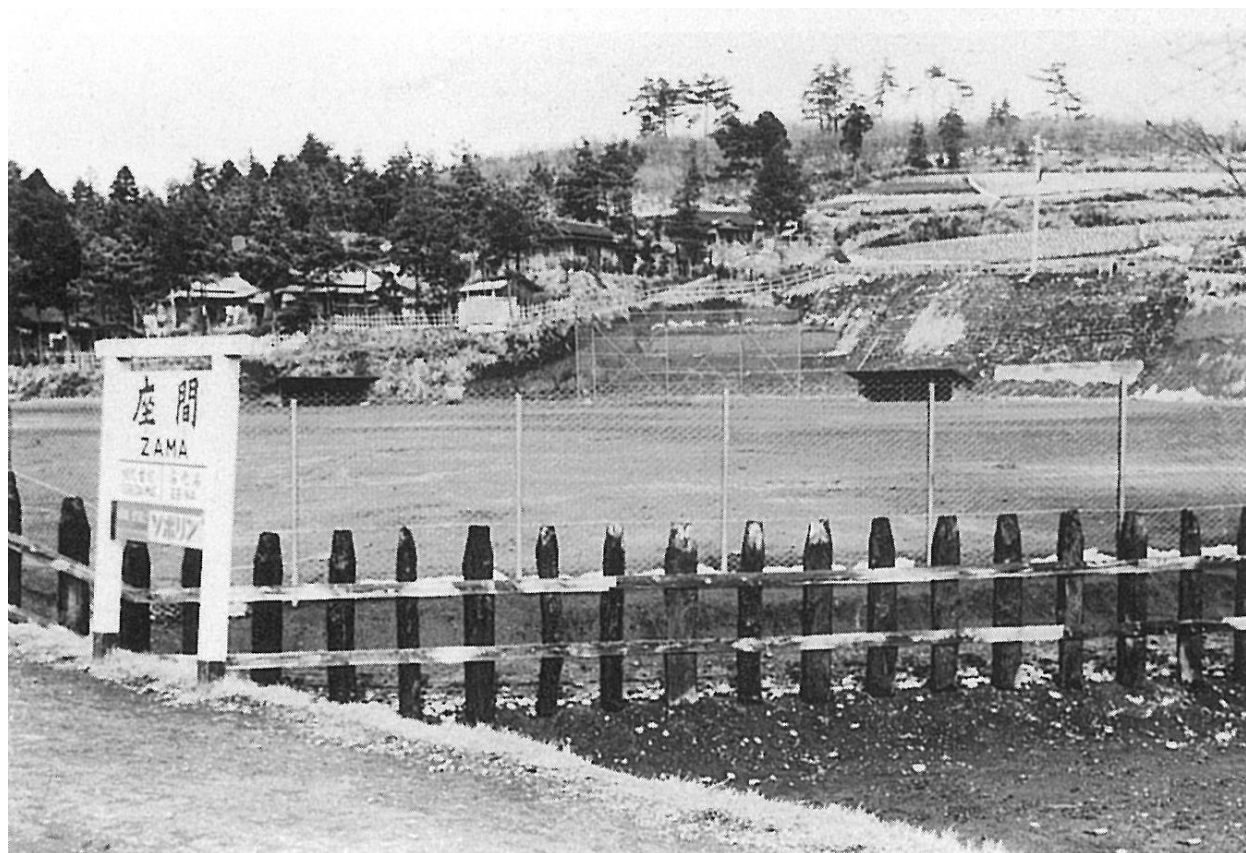


栗原公民館の完成(昭和30年)



野外映写会

夏休み中に行われた野外映写会は、子供はもちろん大人にも大変な人気があった。昭和32年ごろ。



座間球場

小田急の協力により座間駅東側一帯の同社の土地を借用、野球場を建設した。



座間球場の完成

球場の建設は野球連盟加盟のチームや関係者の
勤労奉仕により、昭和26年8月に完成した。



少年野球大会の開催（昭和30年ごろ）

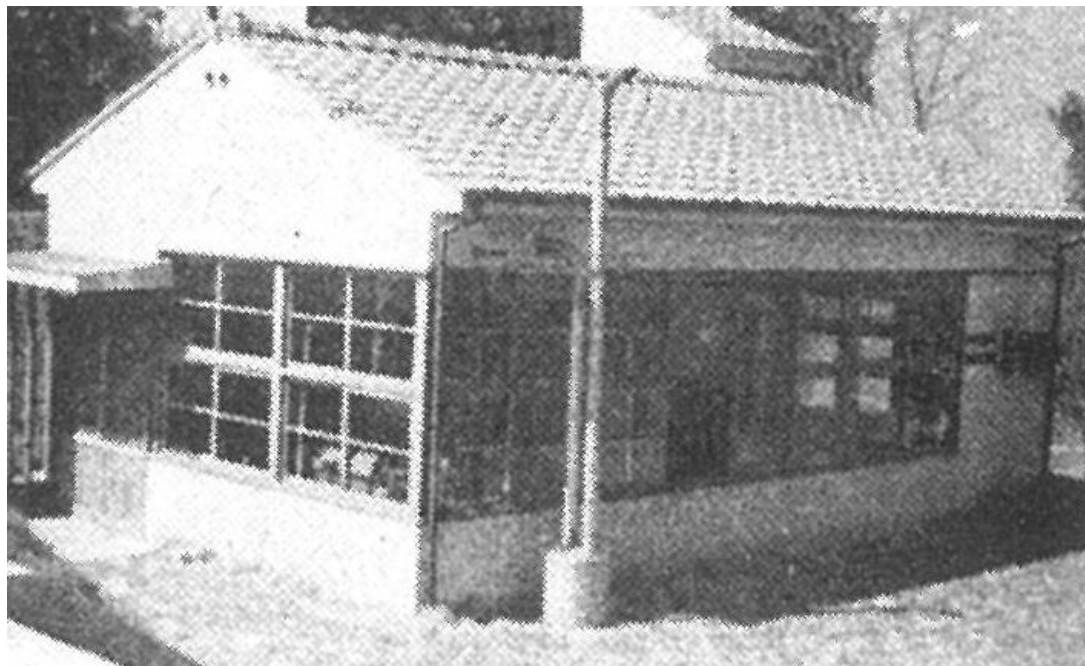


国体聖火旗リレー

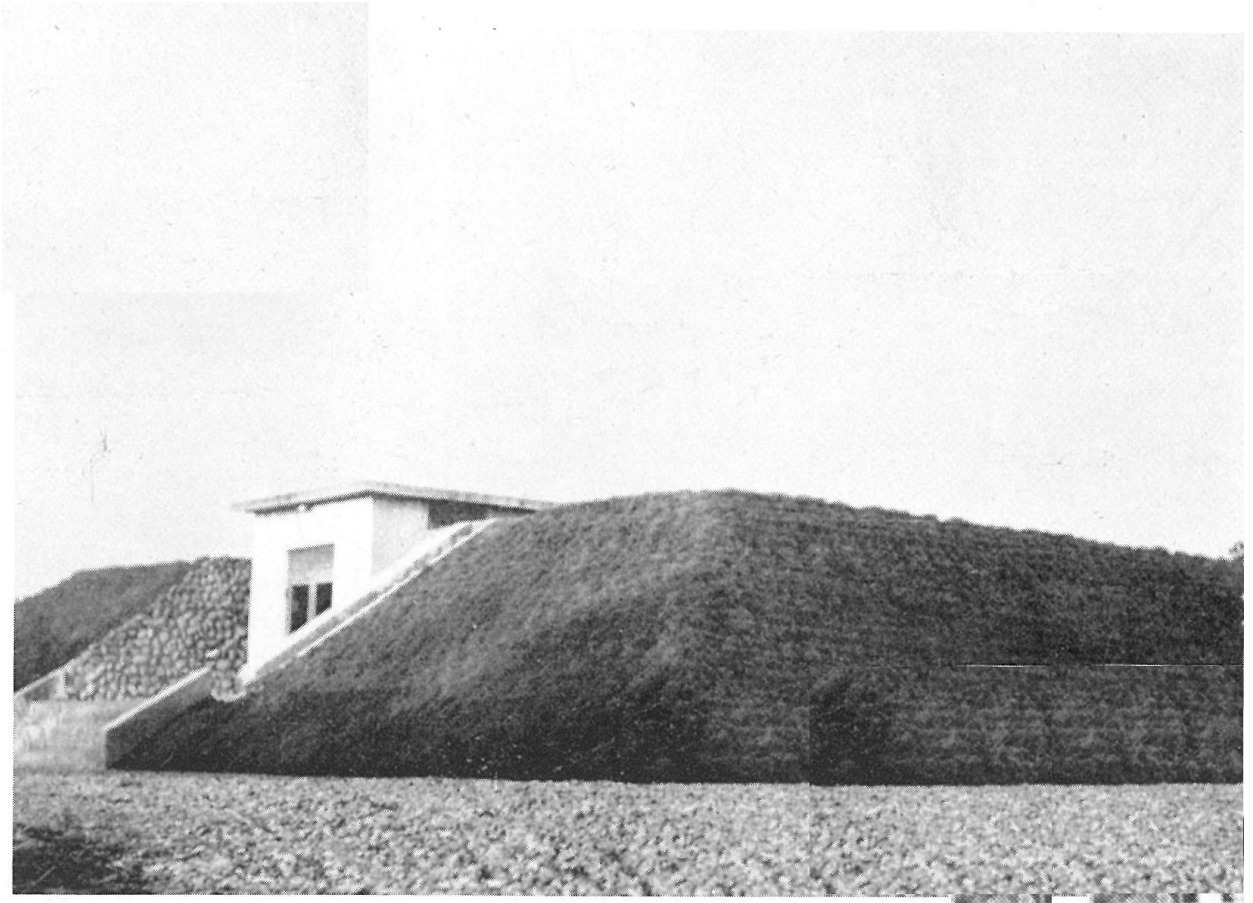
昭和30年10月、第10回国民体育大会が神奈川県で開催され、座間でも町長をはじめとして多数の選手がランナーとして走った。

写真は座間の上宿に行く国体聖火旗。

水道の開始



昭和28年、戦後最大の事業である水道の建設事業が始まった。



水道施設

水源は他市とちがい豊富に湧く地下水が利用され、その味は岩清水そのものであった。

写真は完成した水道施設で、立野台プール西の所にある。昭和29年。



水道施設



町民レクリエーション大会

昭和31年第1回の大会が座間小学校で開催された。当日は商工会による仮装行列、米軍の音楽隊の参加などがあり、大変盛大に行われた。

写真は第1回大会の時のもので、座間の大通りを行く仮装行列。



町民レクリエーション大会

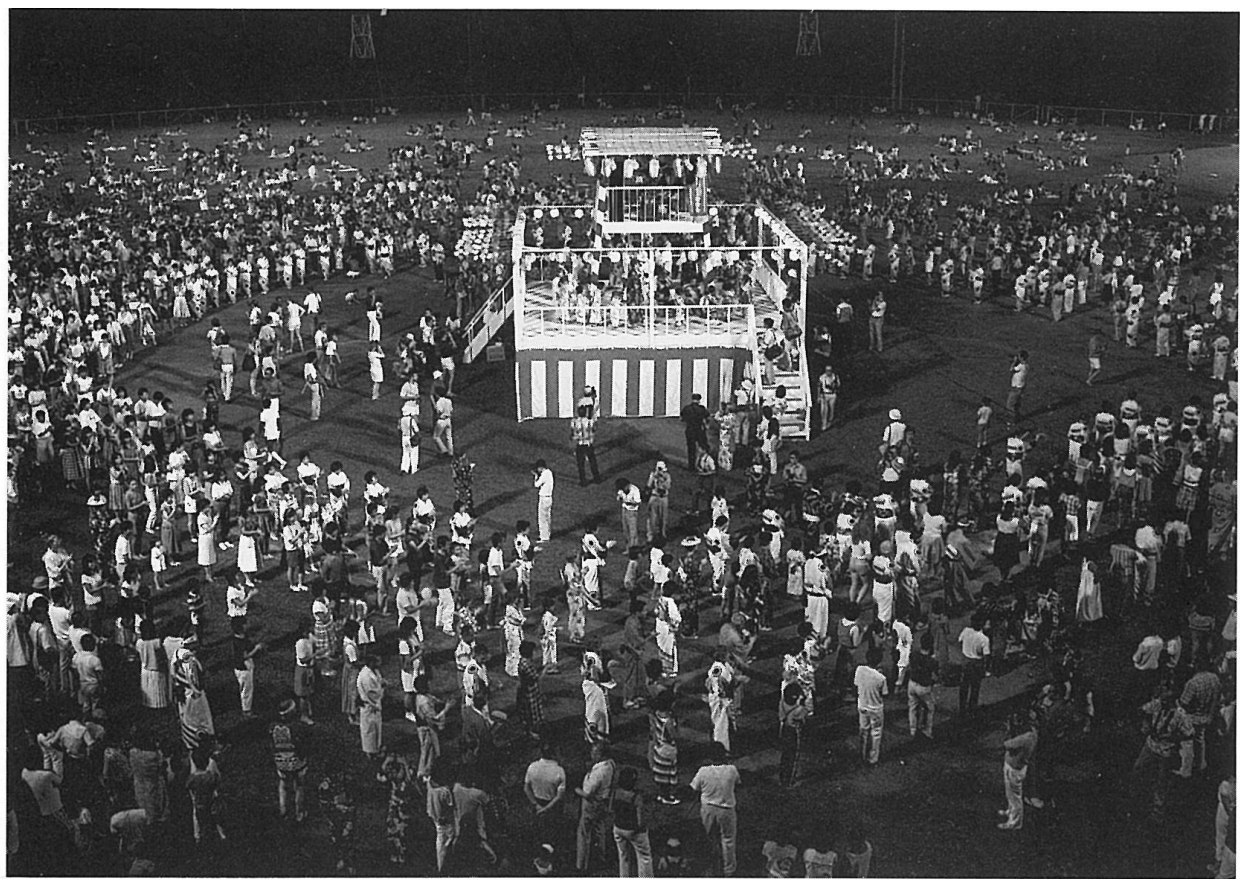
写真は第1回大会の二人三脚の一コマ。

30年代



町営住宅

昭和27年から市営住宅の建設が始まった。
写真は建設中の立野台住宅、左側が立野台小
学校のグラウンド。昭和32年。



日米親善盆踊り大会

昭和35年に始まったこの盆踊り大会は、座間の名物行事となり、市内はもちろん、市外からも多くの人々が参加してにぎわう。

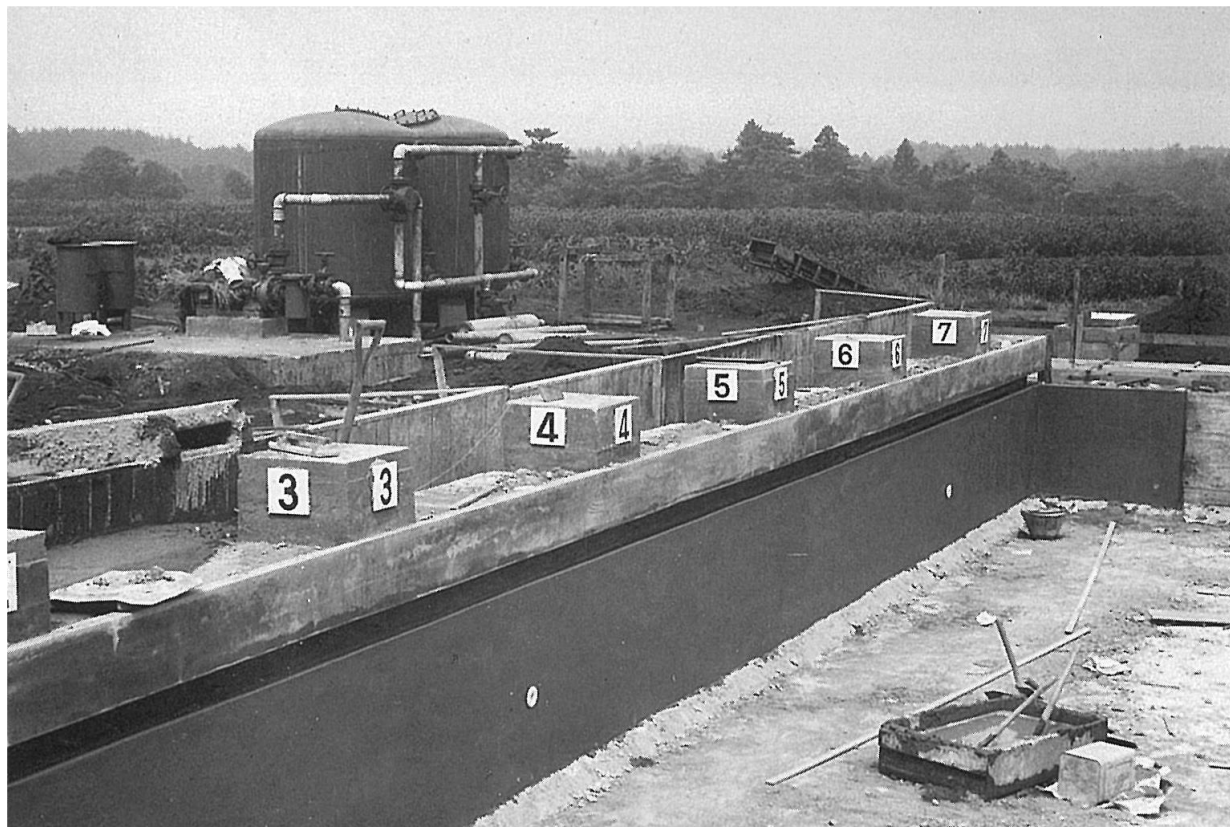


美化デー

昔の道普請や川浚いの共同作業にその起源があると考えられるが、春秋の2回行われ、市民の間にすっかり定着した。

写真は相武台前駅を清掃している地元の人々。
昭和40年ごろ。

公共施設 30年代



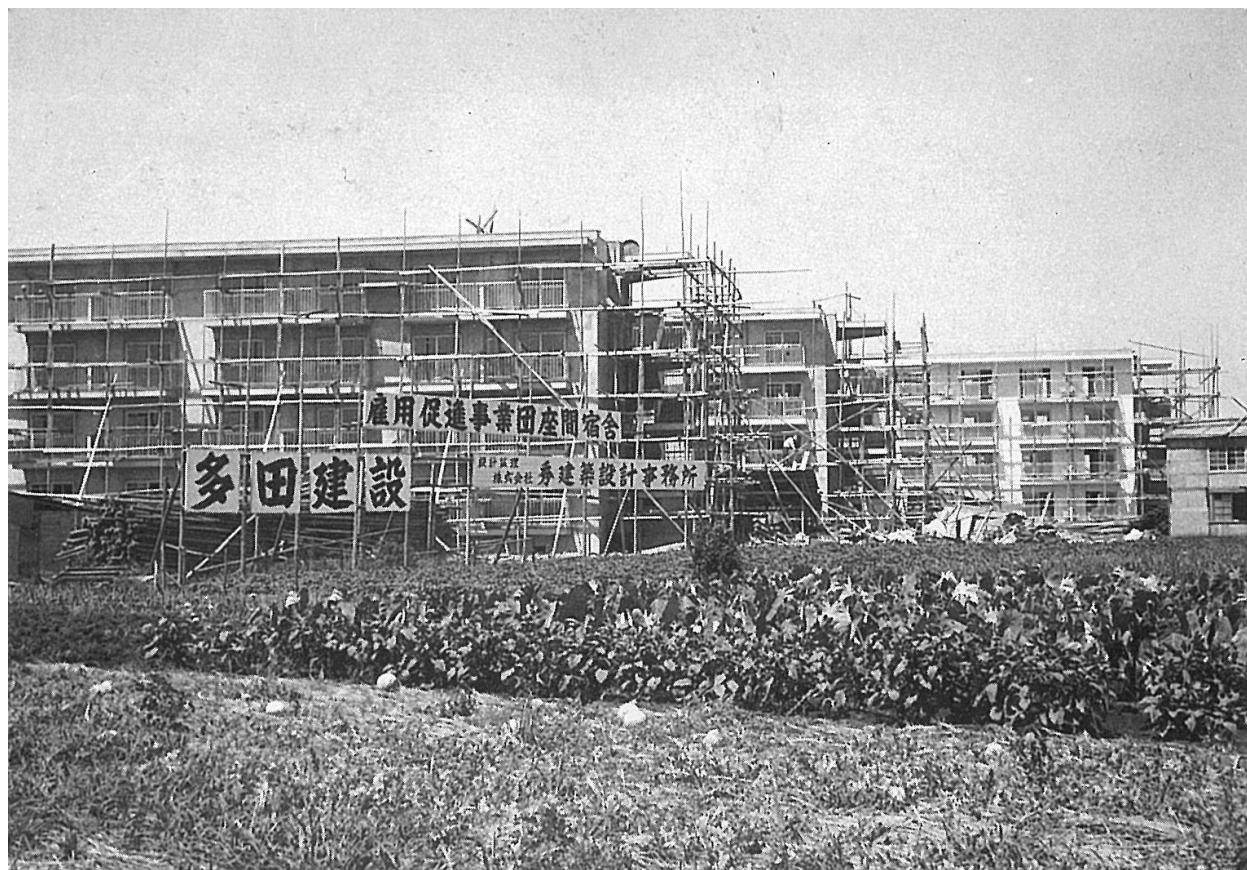
町営プール

昭和37年7月、市内初のプールが立野台に完成した。



座間公園

昭和38年9月、住民待望の本格的な公園がオープンした。



雇用促進事業団アパート

市内初めての大規模アパートであり、このころをさかいに座間の人口は急増してゆく。
昭和37年。

開発直前の風景 栗原地区



栗原中下の地神塔(昭和40年ごろ)

昭和30年代半ばに始まった高度経済成長の波は、工場進出、宅地開発をもたらし、近世以来連綿と続いてきた牧歌的な座間の農村風景を一変させてしまった。



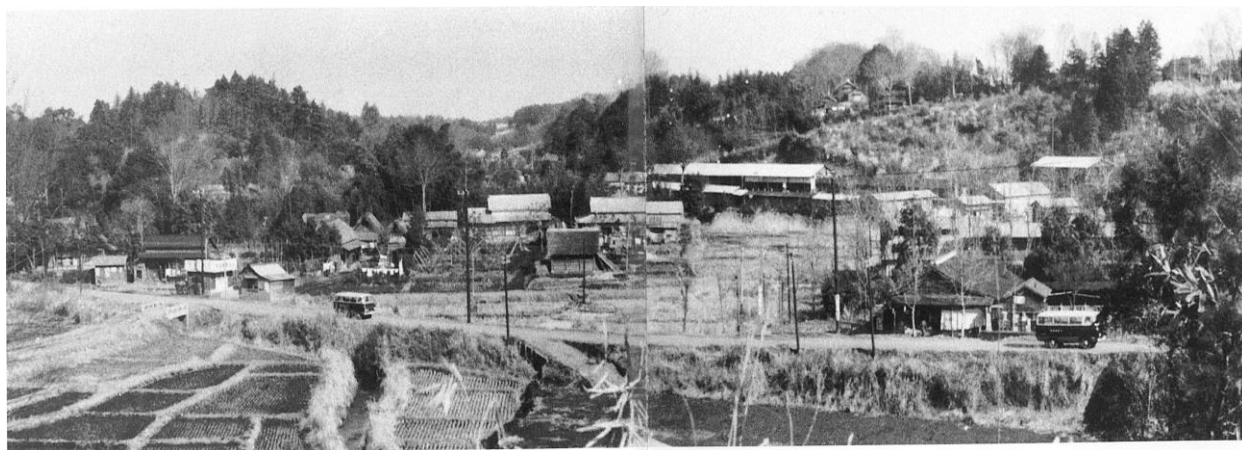
上栗原の家々

南東方向より西北を撮ったもの。手前の田んぼ
一帯がグリーンタウン。昭和30年。



上小池

市道栗原線の小池集乳所付近。昭和32年。



下栗原北からの芹沢遠望

道路は県道座間長後線。奥が芹沢地区、右に澱粉工場が見える。現在は中央を国道246号バイパス陸橋が横断している。昭和35年ごろ。



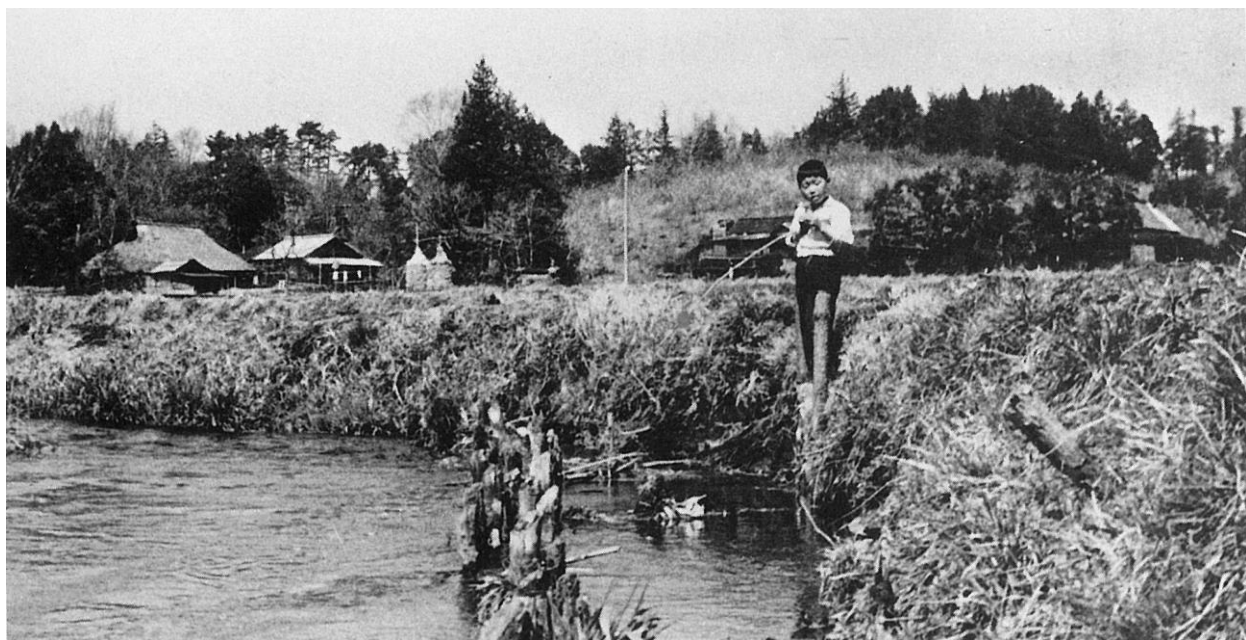
上栗原

嘉平坂の途中より東側を撮ったもの。
昭和37年ごろ。



中栗原

栗原神社の北側。目久尻川の橋付近から撮ったもの。昭和35年ごろ。



目久尻川と釣の少年

下栗原の大下付近か。昭和35年ごろの写真だが、このころはまだハヤなどが群をなしていた。



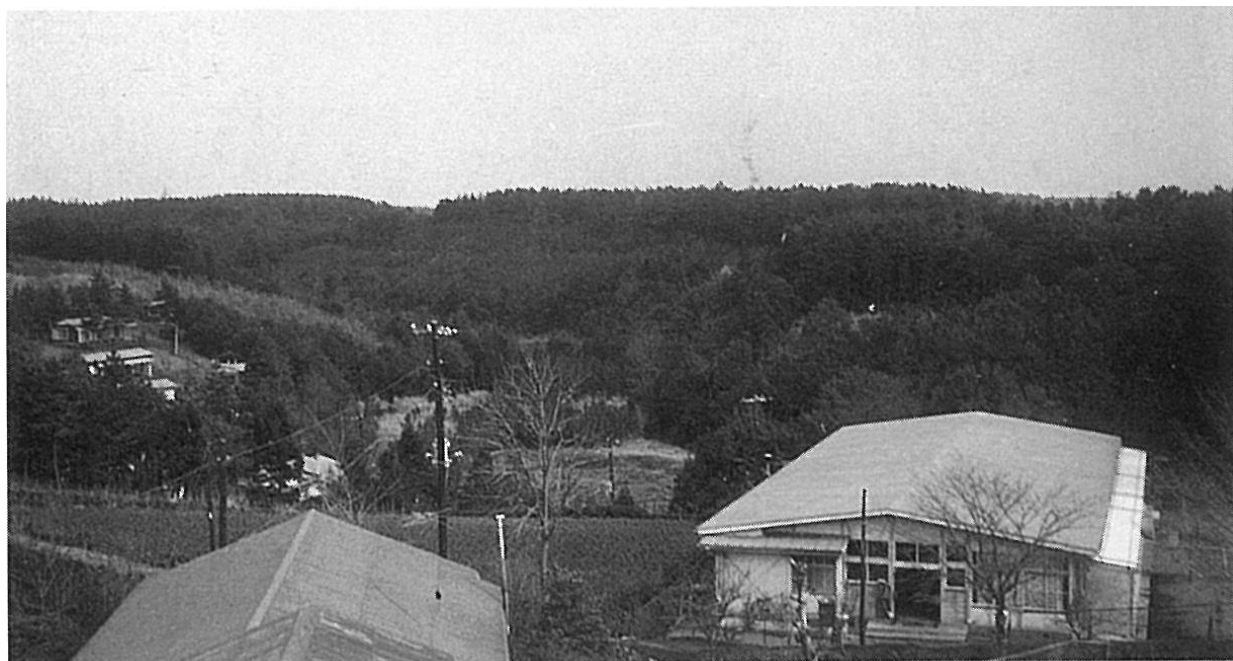
下栗原上

航空写真。昔、山崎とっていた地区である。
昭和37年。



中原の遠望

立野台からの遠望。手前では住宅建設が始まっている。昭和33年。



沖芹沢と老場

栗原小学校屋上からの遠望。
右下の建物は栗原保育園。



開発直前の立野台

栗原中原地区方面より西北方面を撮ったもの。
昭和29年。



天台よりの遠望

天台線の天台切通しより立野台を望む。昭和33年。



立野台下交差点

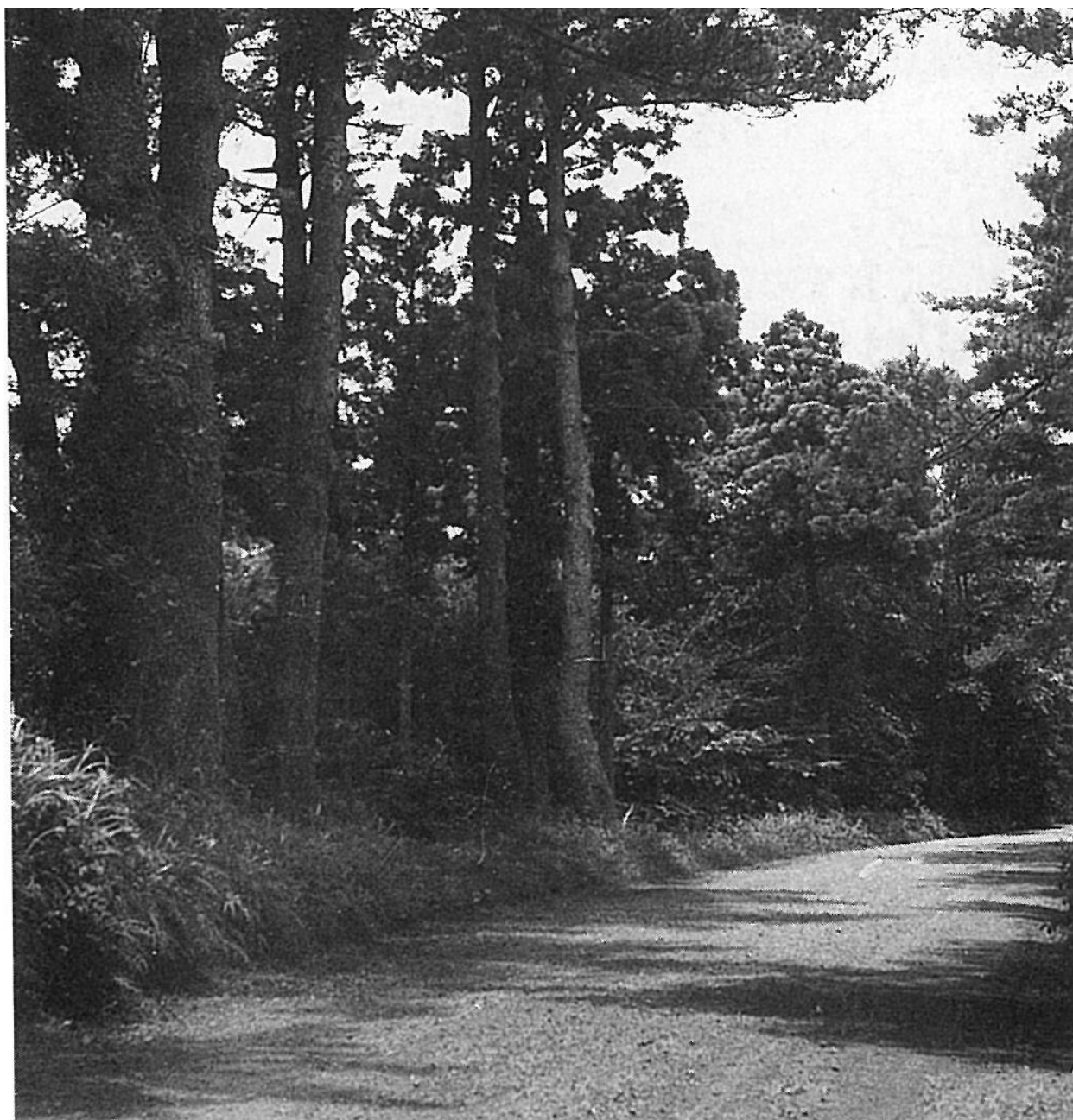
手前道路が県道座間長後線。左側に現在座間中央病院が建っている。昭和40年。

入谷地区



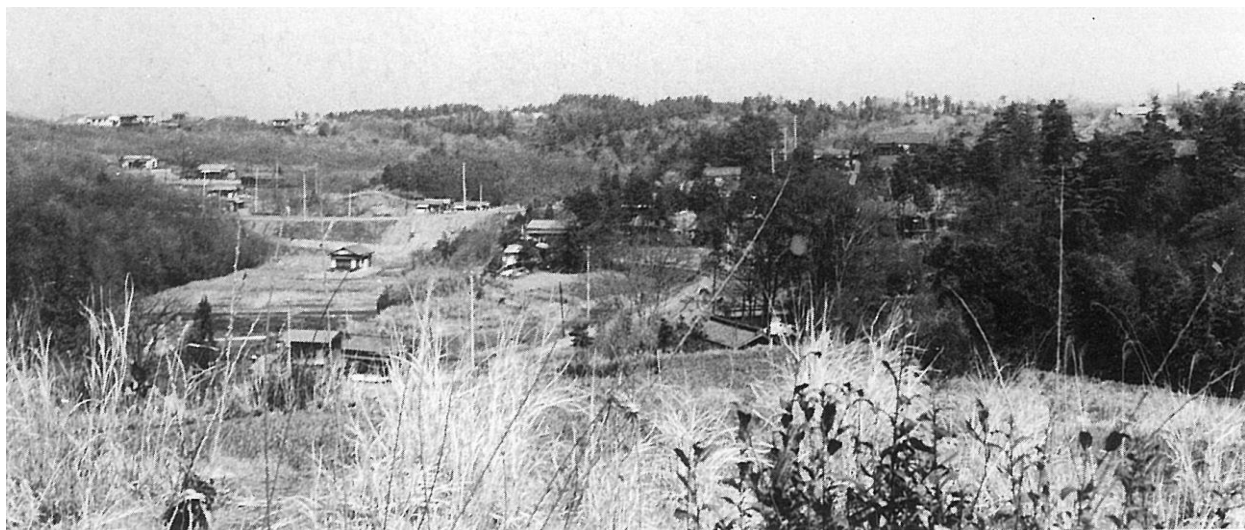
羽根沢の谷戸田

左が立野台方面。昭和40年のものだがまだ、開発が始まっていない。



鷹の峰の五本松

東建座間ハイツの北、未舗装の道路は県道座間
長後線。昭和31年。



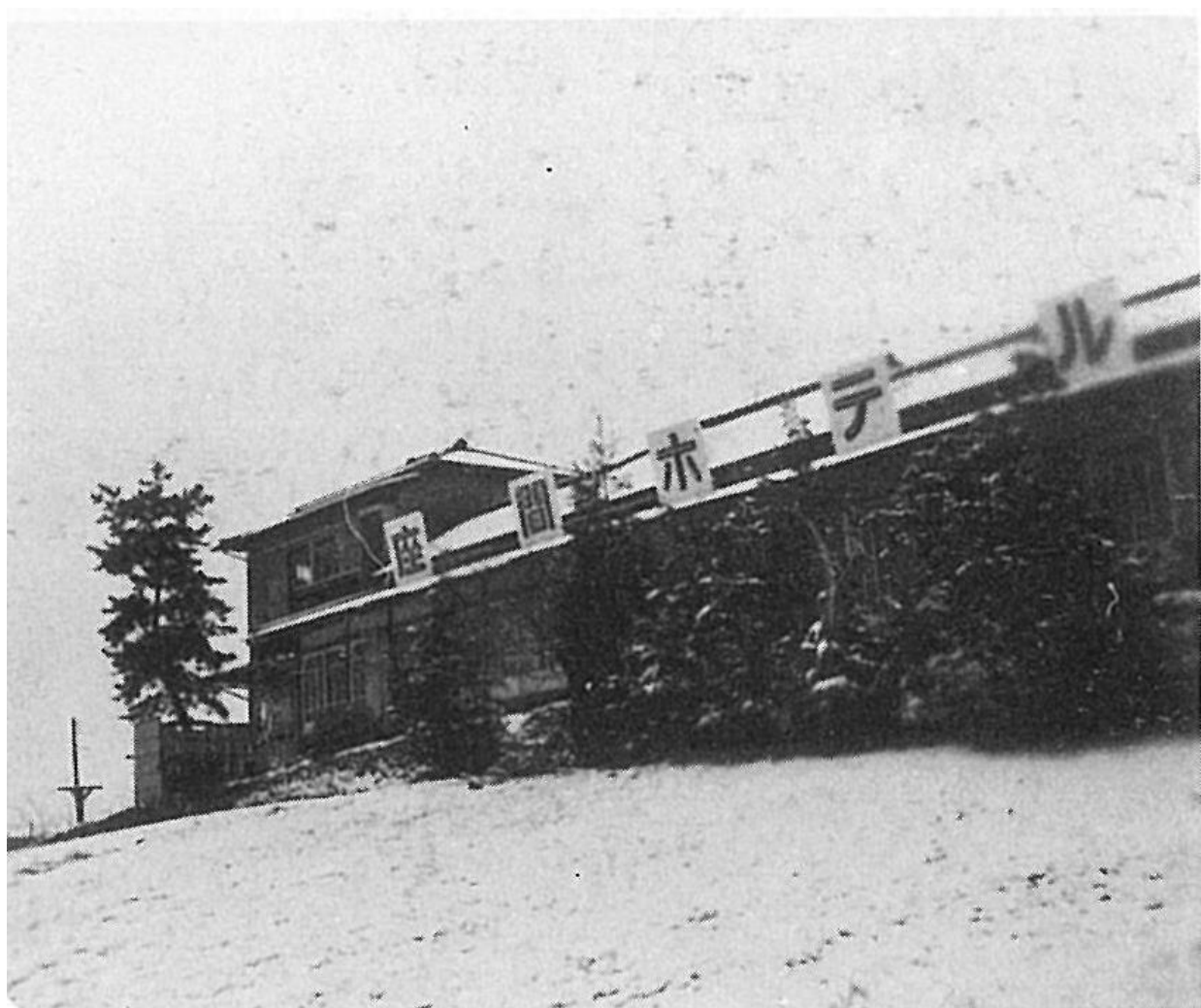
羽根沢の遠望

現在の東建座間ハイツ付近から南を撮ったもの。写真中央の道路が天台線。
昭和40年ごろ。



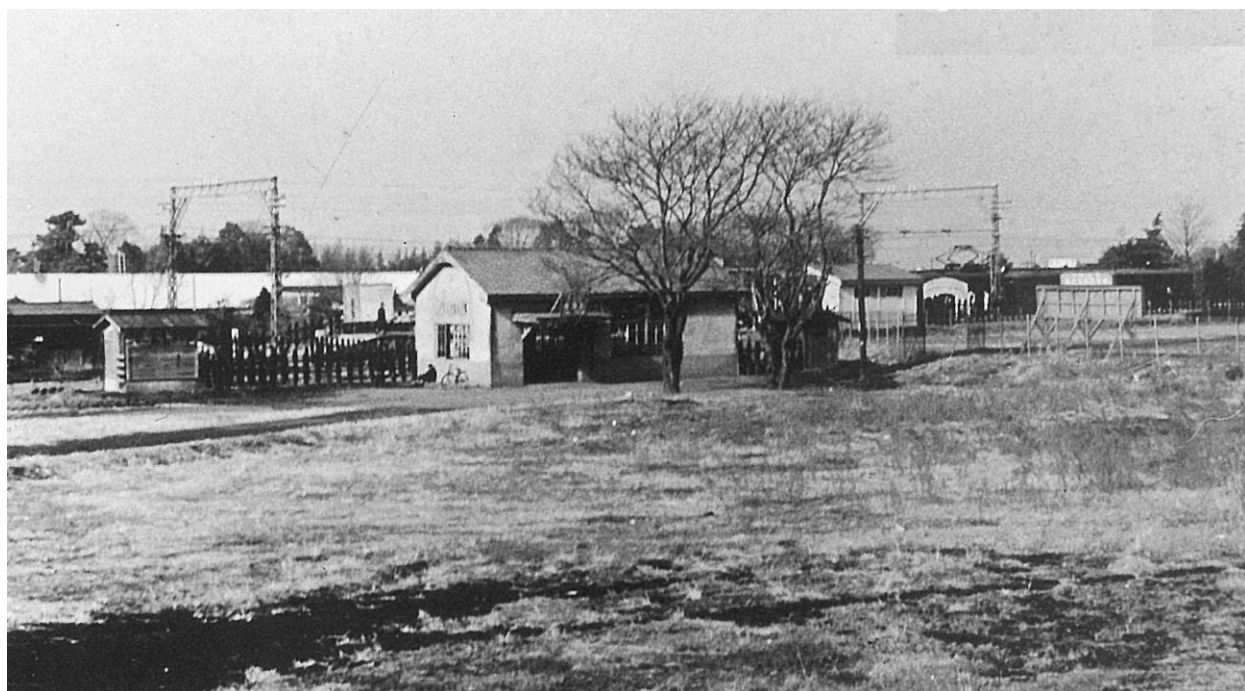
座間駅上からの遠望

現在のひまわり園北付近から、新田宿、相模川、大山を望む。すぐ下は野球場と座間駅。正面の小屋はホーム待合室。昭和30年ごろ。



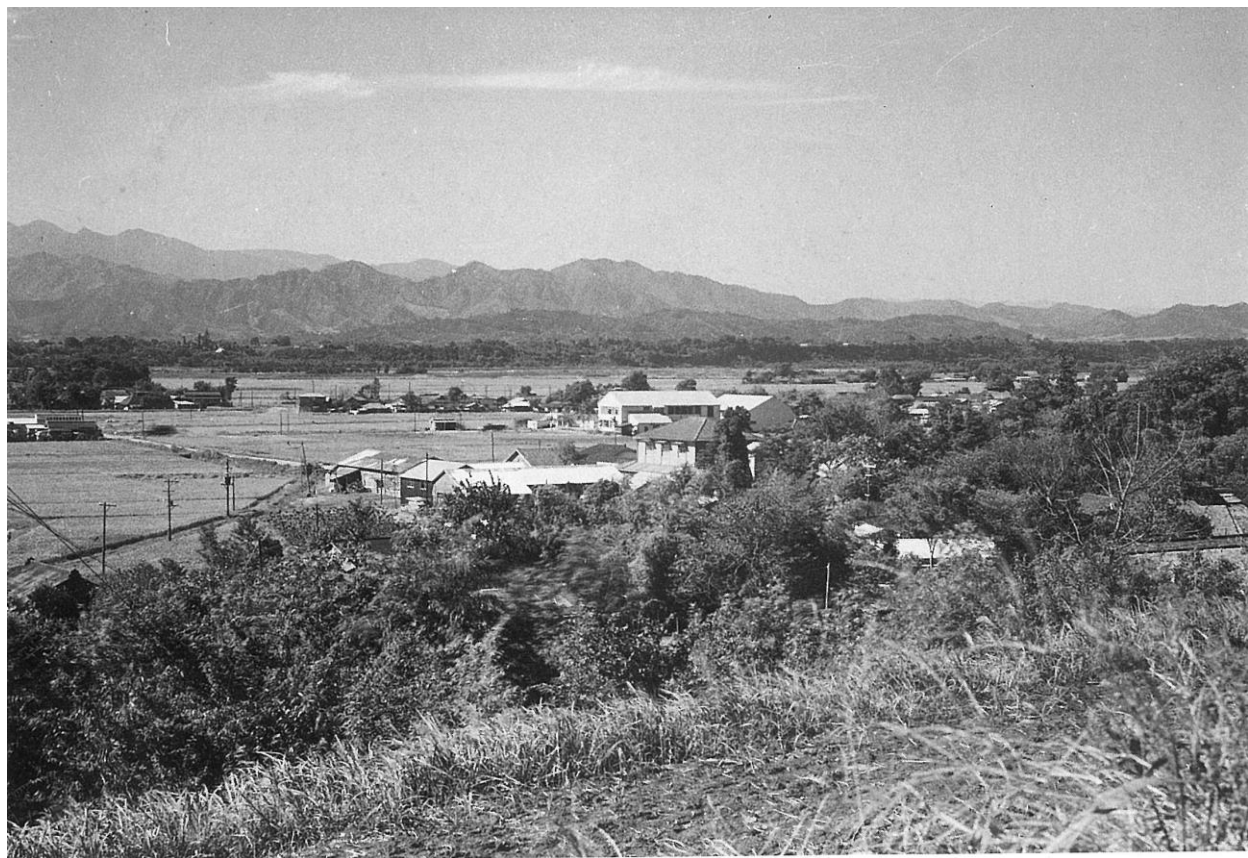
座間ホテル

この建物は現在ひまわり園となっている。
昭和35年ごろ。



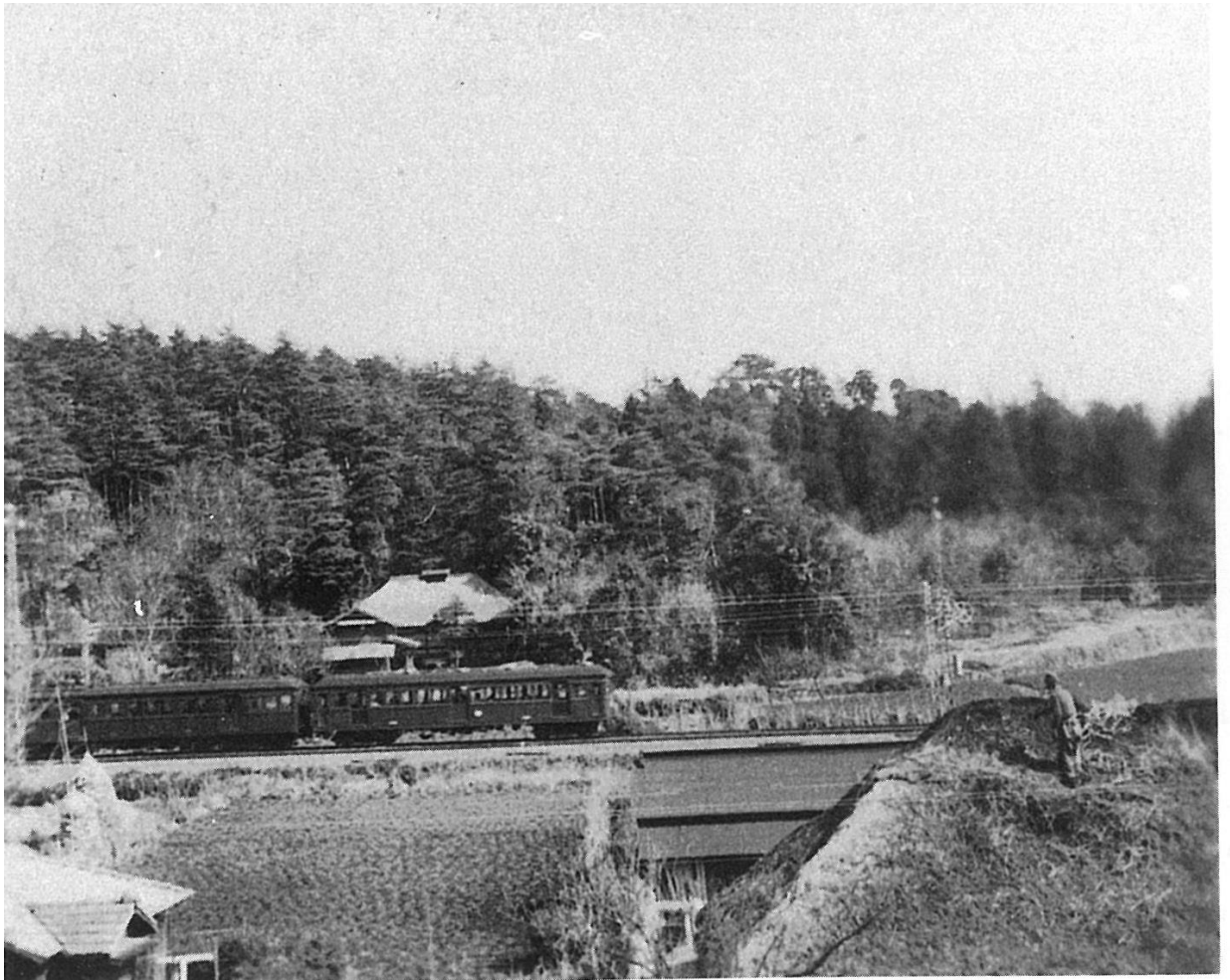
座間駅周辺

今は幻の三本の桜が見える。昭和30年。



鎌倉古道よりの遠望

心岩寺上よりやや北へ行った所からの遠望。
中央に役場、公民館の建物を望む。昭和31年。



大門より東方を望む

座間駅北側付近。今はなつかしいチョコレート色の電車が走る。昭和35年ごろ。



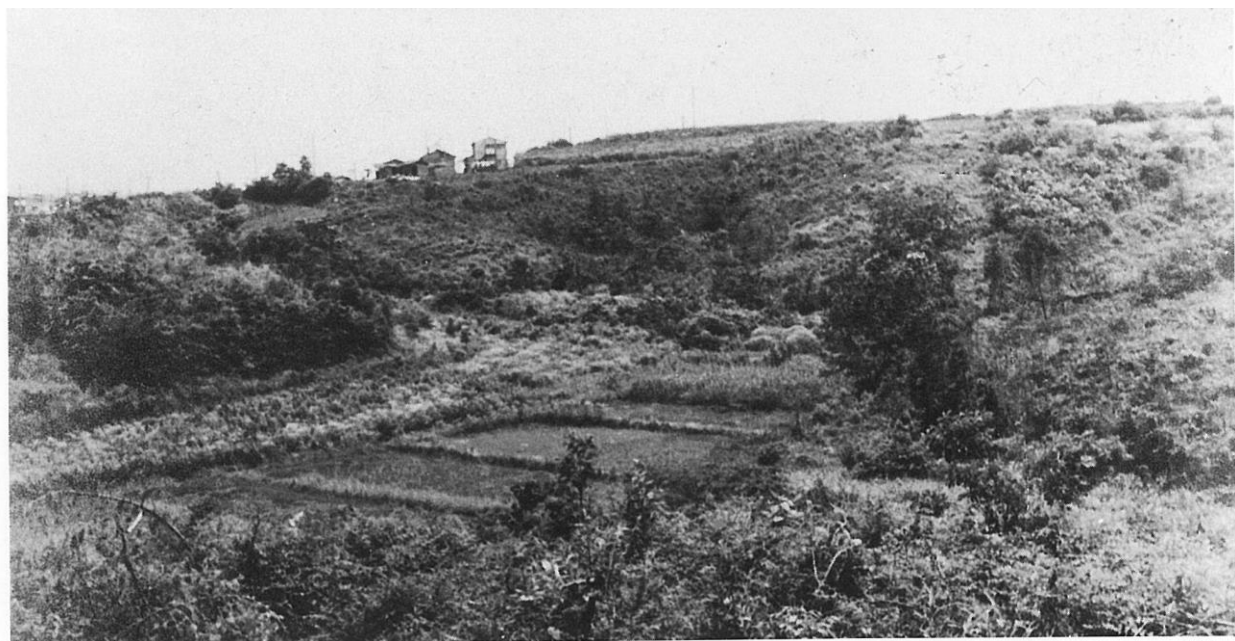
大門通り

星谷寺方面を望む。昭和40年ごろ。



新戸谷戸

今の北谷戸地区。明王南の高台より望む。昭和43年。



明王の谷戸田

小田急線の路線付近より東方を望む。緑ヶ丘の開発はすでに始まっている。昭和43年。



谷戸山東側

右側の山が谷戸山。これに連なる林が貯水池。現在は中央を県道がはしり、市立図書館が建設されている。昭和39年。

座間地区



座間小学校周辺

中央やや上を通る道路が八王子街道。
手前が入谷の長宿、遠方が右より座間の下宿・河原宿。 昭和40年10月。



中河原・大山の遠望

国鉄相武台下駅の西側より。昭和30年。



河原宿交差点付近(昭和40年)



下宿八王子街道周辺(昭和40年)



中宿下河原水門

鳩川と左岸用水路の水を調整する水門で、江戸時代よりここに堰があった。昭和38年。



上宿北八王子街道周辺(昭和35年)

新田宿 四ツ谷 地区



河原宿より新田宿を望む (昭和30年)



新田宿西裏風景（昭和38年）



新田宿の農家 (昭和40年ごろ)



四ツ谷の遠望

入谷バイパス相模線陸橋下付近から四ツ谷を望む。
白バイを先頭に交通安全キャンペーンの車が水田
の間の八王子街道を行く。昭和40年8月。

相模が丘



行幸道路辰街道入口

右側畑に、現在マンションが建っている。小田急線の踏切が見える。昭和30年ごろ。



辰街道周辺の風景

東方より小田急線方面を望む。昭和30年ごろ。



小田急相模原駅前周辺

駅前より座間方面を望む。昭和35年。

相武台周辺



相武台前駅前広場

駅より南の方を撮ったもの。道路は行幸道路、遠方の森は米軍座間キャンプ。昭和21年ごろか。

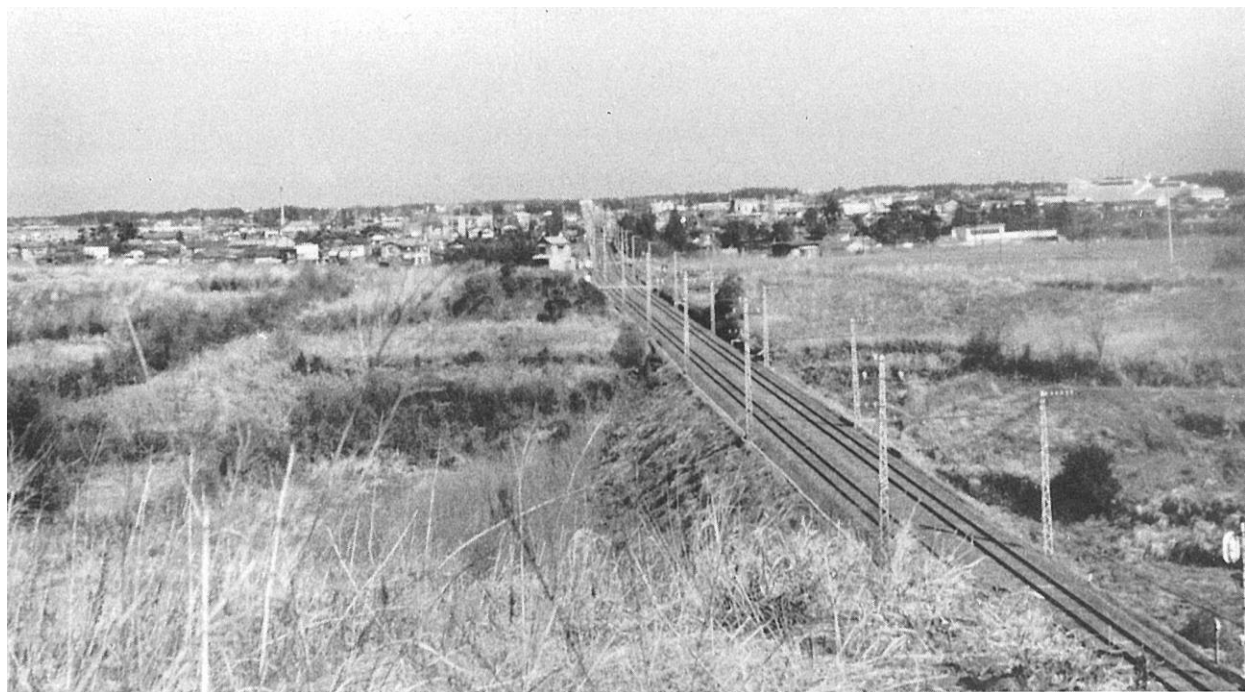


相武台前駅前通り(昭和32年)



相武台の遠望

畑の広がる緑ヶ丘の高台よりの遠望。
相武台北方の練兵場跡は畑が広がっており、
遠くまで見渡すことができる。昭和30年。



緑ヶ丘

現在の緑ヶ丘保育園付近から撮ったもの。
開発直前の37年ごろのものか。



蟹ヶ沢周辺

相武台前駅南の半鐘の上から、緑ヶ丘、遠く下小池、上栗原方面を望んだもの。昭和37年。



緑ヶ丘東部

座間中学校の屋上から撮ったもの。
駅東側にはかなり工場が進出してきている。
昭和37年。

小松原 ひばりが丘 東原



小松原入口

行政道路と辰街道との交差点付近。道路右側が相模が丘、左側が広野台。周囲は畑のほかにもない。昭和30年ごろ。



養鶏場遠望

現在の国道246号バイパス付近から北を撮ったもの。
正面に連なる建物が養鶏場。昭和38年。



丹沢山系遠望 1

手前の森は芹沢東の山。見渡す限りの野原。



丹沢山系遠望 2

現在ここには工場や物流倉庫が建っている。
昭和38年。



ひばりが丘周辺

道路は今の国道246号バイパスと同じ位置。
左側は戦後植えられた防風林。まさにひばりの
の住みかであったろう。昭和37年ごろ。



東原の桜並木

昭和31年、畑地灌漑用水路完成を記念して
植えられたこの桜は、現在大きく成長し、毎
年見事な花を咲かせ、市民を楽しませている。

開発の波



立野台(昭和33年)

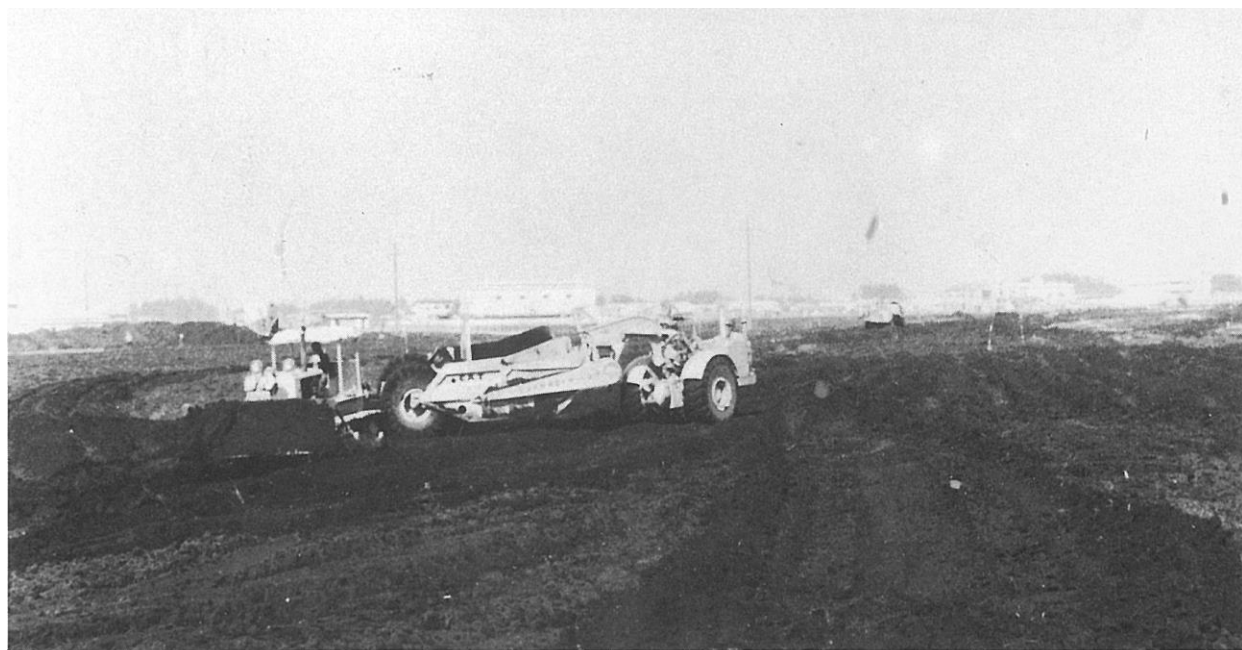


緑ヶ丘

遠方は相武台前。昭和38年。



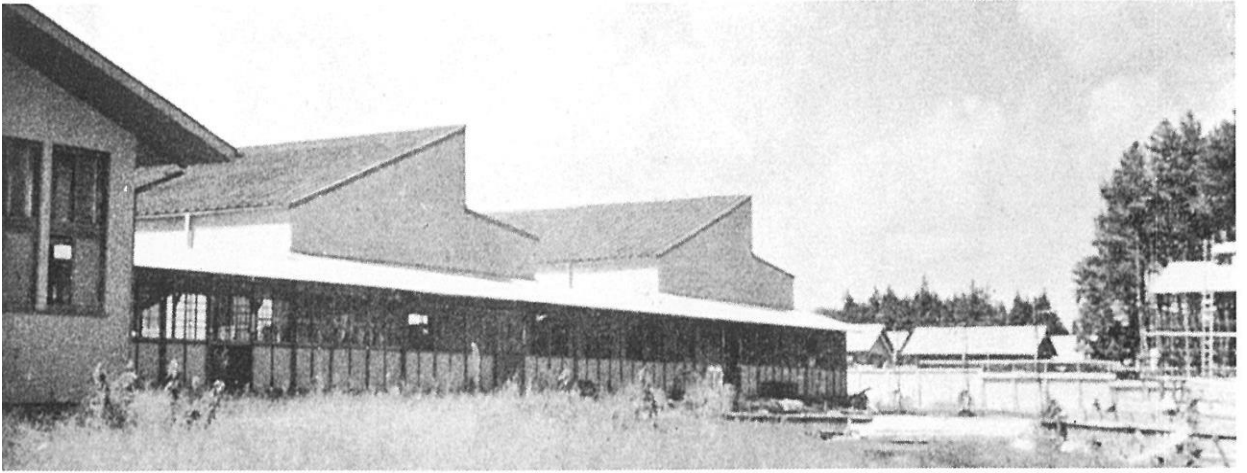
明王 (昭和43年)



広野台

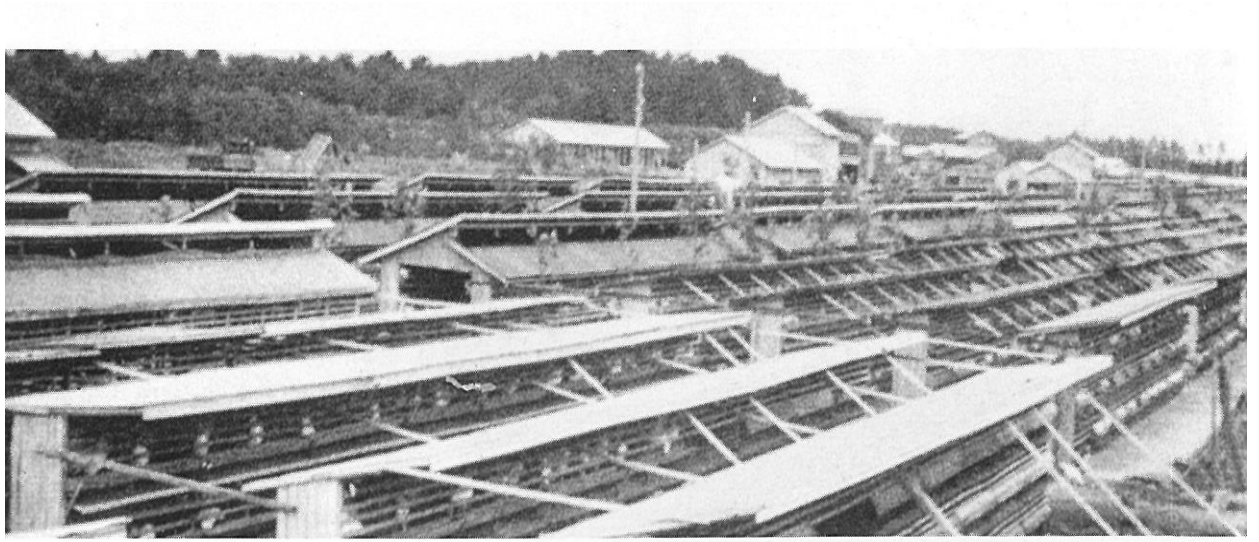
日産工場の建設。昭和39年。

工場誘致



東洋ナイロンファスナー

工場誘致条例新設による適用第1号工場。
昭和32年。



神奈川中央養鶏農業協同組合



東京コスモス電機工場

背後にはまだ山林が広がっている。昭和35年。



日産座間工場の開設

座間最大の工場の進出。昭和39年。

戦後編

完